

大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会 議事概要

1 令和6年7月22日(月曜日)15時00分から17時00分

2 マイドームおおさか 4階 研修室

3 議事

(1) 令和5年度 事業実績の評価について【審議事項】

(評価委員)

・経営相談支援事業の利用者満足度調査の結果から、各団体の評価についてはハイレベルなものになっている。来年度以降の調査にて、質問項目の見直しを検討したいとの話があったが、各団体の特徴・強みが見えるようなものにできれば良い。

・また利用者満足度調査の結果から、各団体の特徴・強みを観察し、団体間の連携等も図るためのバックデータにできれば良いのではないかと。

(事務局)

・府としても、各団体の良いところがより分かるようにしていきたいと考えている。具体的な質問項目の見直し内容については、次回11月審議会にてご審議いただきたい。

(評価委員)

・追加の質問項目として「再度、商工会等を利用したいか」というような内容でも良いのではないかと。

(評価委員)

・「他の事業者に商工会等を紹介したいか」という質問を追加することによって、この経営相談というサービスに、どのくらいの価値があったのかを計ることもできるのではないかと。

(評価委員)

・地域活性化事業が入口になって、そこから経営相談支援事業へという相談の流れもあるのではないかと。

(事務局)

・お見込みの通り、販路開拓系の事業、例えば物産展事業はその傾向がある。一方で、記帳相談・金融相談は、地域活性化事業を入口にするのではなく、事業者自身が課題を明確に抱えていて相談するケースが多い。

(2) 事務の共同処理に係る事業の進捗状況について【報告事項】

・特に意見なし

(3) 小規模事業経営支援事業の効果的・効率的な事業運営に向けた検討について【報告事項】

(評価委員)

・今年度の見直しについては、大阪府からの提案なのか。

(事務局)

・毎年、団体から要望をいただいているという事実とともに、事業費補助への転換から10年以上も経過し、外部環境も大きく変化してきたという背景もある。今回、改めて各団体の実態把握も含め、アンケート・ヒアリングを通じて意見を伺いたいと考えている。

(評価委員)

・概念的な話ではあるが、この事業の全体最適も考慮し、府としての大きな方針も見える化していくことも大切かと考える。

・また、今年度のスケジュールは、いかがか。

(事務局)

・7月下旬からアンケートに基づいて、各団体へヒアリングをさせていただく予定である。

(評価委員)

・また、地域活性化事業の評価の部分については、評価が複合的なものになっている。思い切って、同種の事業については、評価軸を統一するののも一つの手段かと思う。

・地域活性化事業なので、何よりも現場に行き、評価者の質を担保したうえで評価するのも有効である。

(評価委員)

・効率化という面で単会だけではなく、広域的な事業をより進めていくのも良い。

(事務局)

・現在においても広域で実施している事業もあるが、支援実績率が1の事業があることも事実である。より、効率性の観点からも事業をより良い方法で実施できないかを考えてまいりたい。

(評価委員)

・地域活性化事業については、各団体で競争させるということではなく、各団体の連携度合いを評価の対象とすることも大切なのではないか。また、それだけではなく、地域性、各団体の規模感を考慮すべき事項ではないか。

(評価委員)

・昔から実施されている地域活性化事業もあるが、あまり活性化につながっていないという事業もあるのではないか。長く実施している事業については、インフラ的に提供されているものもあると思う。経年で評価したときに、何か見えてくるものもあるのではないか。

・また、地域活性化事業については、現在は実績報告書に基づいた評価になっているが、地域活性化という主旨を考慮すると、全ての地域活性化事業に参加することは難しいと思うが現場に行って評価することも重要ではないかと考える。

(評価委員)

・アンケートにITツールの利用しているかという部分があるが、どのくらいの習熟度で使っているかわからないのでは。

(事務局)

・詳細な部分については、各団体へのヒアリング時に確認したい。
・また、習熟度については、ある単会の話を知ると、年齢等のバックグラウンドの影響もあり、職員によって異なっているという話を聞いた。

(評価委員)

・経営指導員の方の年齢が上がってきているようだが、アンケートに指導員の人材確保に関する部分もあったが、どのように考えているのか。
・また、士業の方の副業活用なども大切ではないか。

(事務局)

・人材確保については、各団体から困難になっているという話は伺っている。府で規定している指導員要件の変更も視野に入れ、検討の中で考えていきたい。
・また単会によっては、採用活動に成功した団体もある。そういった事例については、連合会から事例紹介をしている。

(評価委員)

・今年度どのくらいの取組みを見直しにおいて予定しているのか。

(事務局)

・予算に関連するところについては、来年度以降になるかと思う。ただし、今年度から取組みできるものについては、今年度から取組む予定である。

(4) 令和5年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュール

・特に意見なし。

閉会